

NEWS LETTER

vol. 3

2022年12月発行

CONTENTS

- 1 理事長挨拶・新任理事挨拶
遺言能力スクリーニング検査
- 2 活動報告 1
・意思決定支援研修
・金融ワーキング・グループ報告書
- 3 活動報告 2
・意思決定支援研究大会
・認知機能チェック
- 4 INFORMATION
・研修のご案内
・監修業務実績
・銀行ジェロントロジスト
認定試験
・団体賛助会員・正会員のご紹介
・賛助会員・寄付金のお願い

発行
意思決定サポートセンター
DMSOJ 一般社団法人 日本意思決定支援推進機構

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

理事長挨拶

成本 迅 Narumoto Jin



2022年7月より理事長を務めております。2022年9月からは住友生命保険相互会社に新たに正会員に加わっていただきました。賛助会員も団体、個人ともに新しく入会いただき、活動の幅が広がってきました。

意思決定支援は、認知症などで理解力や判断力が低下している人にとどまらず、意思決定に必要な知識が不十分な場合や一時的に精神状態が不安定になっている場合など、対面、非対面に関わらず、すべての意思決定場面に適用される考え方であり、今後様々な領域で必要になると考えています。今後も広く意思決定支援が浸透するよう活動していきたいと思っておりますので、引き続き本機構の運営にご協力をお願い申し上げます。

新任理事挨拶

大和田 健介 Oowada Kensuke

司法書士として、成年後見案件に多く携わっております。導入から20年余りとなる成年後見制度をめぐっては、近年代行決定から意思決定支援を原則とした運用への転換が目指されており、国の利用促進基本計画でも意思決定支援の重視がうたわれています。一方で、権利擁護支援においては権利侵害からの回復支援も重要な役割であり、意思決定支援と互いに両立していくかが課題です。

意思決定支援を踏まえた成年後見制度はどうかあるべきか、また制度以外の権利擁護支援をどう充実させていくか、皆様とともに追求し、社会の発展に寄与できれば幸甚です。

「遺言能力スクリーニング検査」

好評実施中

研究大会でもご紹介した「遺言能力スクリーニング検査」が本年6月よりスタートしました。トラブルのない遺言作成のために、遺言を確実に残したい方の遺言能力を測定します。

80代後半や90代の方が受検し安心して遺言作成ができること好評です。一般的に認知機能の判断に使われている長谷川式簡易知能評価スケールやMMSEもオプションとして準備しており、当社HP掲載のチラシ裏面が申込書となっております。認知機能測定だけでなく、遺言作成に必要な能力測定検査です。詳細はHPまたは事務局にお気軽にお問い合わせください。

トラブルのない遺言作成のために
遺言能力スクリーニング検査
のご案内

遺言を確実に残したい方の遺言能力を測定します

検査の流れ

お申し込み	お申し込み	検査実施	結果報告
お申し込み	お申し込み	検査実施	結果報告

検査日時 毎月第2・第4 木曜日 10時～17時 (祝日の場合は休場)

場所 意思決定サポートセンター (京都府香楽ビル3F)
(大阪府下区北區船場高島町1-10-10 船場ビル)

料金

遺言能力スクリーニング検査	50,000円 (税込 55,000円)
オプション検査 (認知機能)	1種類 5,000円 (税込 5,500円)
オプション検査 (認知機能)	2種類 7,000円 (税込 7,700円)

お問い合わせ

意思決定サポートセンター
〒600-0005 京都府下区北區船場高島町1-10-10 船場ビル3F
TEL:075-251-0000 FAX:075-251-0001
E:info@dmsoj.jp W:www.dmsoj.jp

「意思決定支援研修」

京都府委託研修：認知症の人の意思決定支援研修

設立時から京都府より受託しております「認知症の人の意思決定支援研修」は、2021年度も以下のテーマで実施いたしました。コロナ禍の中、オンライン研修を基本としながら、一部は現地開催とオンラインのハイブリッドで開催し、受講者様のニーズにお応えしました。179名のご参加で、80～90%の満足度と、高い評価をいただきました。

■ 2021年度研修 (2021年10月～2022年1月)

10/16	コミュニケーションスキル編・第1回 (オンライン) 講演「家族支援の基礎知識」(成本迅) / GW「支援者としての態度」(樋山雅美)	51名
11/13	コミュニケーションスキル編・第2回 (オンライン) 講演「認知症の基礎知識」(松岡照之) / GW「認知症の人との対話のコツ」(樋山雅美)	44名
12/11	コラボレーションスキル編・第1回 (ハイブリッド) 講演「成年後見制度の基礎知識」 / GW「成年後見制度の活用と意思決定支援のタイミング」(弁護士・中川由宇)	52名
2/ 5	コラボレーションスキル編・第2回 (オンライン) 講演「高齢者の消費者契約における留意点と課題」(弁護士・平尾嘉晃) / トークセッション「高齢消費者の契約に関する課題と留意点」(成本迅)	32名

2022年度は現地開催を再開しております。より多くの方に受講いただけるよう、市内だけでなく、北部(京丹後)や南部(宇治市)でも開催いたしました。

■ 2022年度研修 (2022年8月～2023年2月)

8/28	医療・福祉関係者向け「意思決定支援カンファレンスを学ぶ」(京丹後市) 講演「意思決定支援と心理学」(樋山雅美) / GW「多職種カンファレンスの重要性と意義」(成本迅)
9/19	全職種向け「意思決定支援の基本を学ぶ」(オンライン) 講演「認知機能と意思決定の関連」(松岡照之) / GW「支援者としての態度」(樋山雅美)
12/11	医療・福祉関係者向け「意思決定支援の現場を知る」(宇治市生涯学習センター) 講演「医療現場における意思決定支援の課題と対応」(成本迅) / 講演「福祉現場での苦情クレーム事例と意思決定支援からのアプローチ」(上林里佳) / ワーク・解説
2/ 4	全職種向け「意思決定支援に関わる制度・法律を知る」(キャンパスプラザ京都) 2022年12月現在準備中。当社団理事の司法書士・大和田健介による講演等を予定しております。

「金融ワーキング・グループ報告書」

当社団が事務局を務める金融機関高齢顧客対応ワーキング・グループでは、毎年活動報告書を発行し、金融庁にも提言しており、2022年は日本証券業協会の会員向け資料としてもご紹介いただいております。

当社団HPよりダウンロードいただけます。

現在、Vol.3を準備中です。(2023年3月発行予定) どうぞご期待ください。



Vol.1 高齢顧客の判断能力評価、及び意思決定支援における金融業界全体のルール策定についての提言

Vol.2 本人らしい生活と自律的な資産管理を維持するために金融機関が行うべき高齢者支援

*海外からのニーズも高く、英語版・中国語版も作成。台湾の「台湾知的障害協会」に中国語版の発行を認可し、台湾ではプレスリリースされました。

「意思決定支援研究大会」

当社団設立以来、毎年様々なテーマで「意思決定支援研究大会」を開催しております。2021年度、2022年度開催の大会のご報告をいたします。

2021

(2021年10月29日(金) 10時~16時 オンライン開催)

第3回大会テーマ 「人生100年時代 —後半戦の住まい—」

午前の部：COLTEM 参画大学における意思決定支援の開発や実践を紹介。

午後の部：けやき法律事務所所長・折田泰宏弁護士による基調講演「マンションにおける高齢化の現状と課題」、民間企業からのシンポジストを迎えたシンポジウム「高齢者の住まいに関わる民間企業の取り組み」を行い、高齢者の住まいについて、皆様と考える時間を持ちました。



2022

(2022年10月23日(日) 13時~16時 ハイブリッド開催)

第4回大会テーマ 「高齢者の意思決定と老後の備え」

第4回となる研究大会は、現地（キャンパスプラザ京都）とZoomでのハイブリッド開催で実施しました。合同会社フィンウェル研究所代表の野尻哲史氏による基調講演「高齢者の生活満足度と資産・居住都市」では、高齢者の生活と資産活用について新しい視点をご提供いただき、参加者にもご満足いただける内容となりました。



またシンポジウム「遺言能力スクリーニング検査とその活用」では、当社団が

研究した、認知機能を科学的に検査し高齢者の遺言能力を測定する「遺言能力スクリーニング検査」について詳しく説明を行いました。

実際に検査を行っている公認心理師による実演も行い、イメージを持っていただく機会となりました。本大会は、賛助会員の皆様には無料でご参加いただきました。当社団では引き続き、多くの皆様に興味を持っていただけるテーマで研究大会を開催してまいります。ご期待ください。



「認知機能チェック」：会員法人が顧客サービスとして好評実施中

正会員である京都信用金庫様が高齢顧客サービスとして顧客を対象に「認知機能チェック」サービスを開始しておられます。当社団はこの検査を請け負っております。

- ・「認知症外来を受診するには抵抗がある」
- ・「認知症を予防したい」「最近物忘れが増えてきた」

このようなお客様にご利用いただいております。ご夫婦で受けられる方も多く、実際に大学病院の外来で検査を担当している公認心理師による検査が気軽に受けられ、「受けるまで緊張したが、検査だけではなく予防のアドバイスもあり良かった。定期的に受けたい」とご好評いただいております。



「研修のご案内」

社内研修資料の監修経験を活かして、団体様向けの研修を準備中です。研修内容、開催形式（対面・オンライン・動画）等、ご希望に応じてアレンジし、医学・心理学・福祉・法律の専門家を講師として派遣いたします。事務局までお気軽にお問い合わせください。



「監修業務実績」 監修完了分（2022年12月現在）

2022年は下記の企業様より委託を受け、助言及び監修を行いました。

2022年1月	株式会社ゆうちょ銀行 「投信信託解約委任サービス」使用書類の監修
2022年5月	住友生命保険相互会社 社内帳票等の監修
2022年5月	三井住友プライマリー生命保険株式会社 代理店販売担当者向け研修の監修

※賛助会員の団体様は、特別価格にて監修を承ります。

「銀行ジェロントロジスト認定試験」 受験者拡大中

（一社）金融財政事情研究会と当社団共催の金融業務能力検定試験で、合格者は「銀行ジェロントロジスト」の認定書を取得できます。当機構の知見を反映した本試験は高齢者取引時に必要となる「認知症の知識」「法律や制度」と「意思能力の確認」の学習と業務における対応力向上を目指した「金融業務3級シニア対応銀行実務コース」（銀行ジェロントロジスト認定試験）として実施中です。予想を上回る受験者数ですので、お早目の受験をお勧めいたします。2021年1月12日に開始し、受験者は2022年9月末時点で金融機関関係者を中心に10,000名を超えています。



「団体賛助会員・正会員のご紹介」

（2022年12月20日現在。敬称略・五十音順）

賛助会員 ● 海辺の杜ホスピタル・香川証券・三幸会北山病院・SOMPOホールディングス・第一生命保険・第一フロンティア生命保険・大日本印刷・凸版印刷・マネーフォワード・みずほ銀行・三井住友海上プライマリー生命・三井住友銀行・三菱UFJ銀行・ベネッセスタイルケア・ゆうちょ銀行

正会員 ● 京都信用金庫・住友生命保険・三井住友信託銀行

※個人の賛助会員の方も毎年増えております。

「賛助会員・寄付金のお願い」

当社団の活動にご賛同いただける「賛助会員」を募集しております。「寄付金」についてもお待ちしております。

賛助会員：年会費 1口（団体5万円／個人1万円）

●主な会員向けサービス

「特別価格での監修受託」

「当機構の研修や当機構理事の講演動画の配信」

「研究大会、研修等への優先参加や参加費の割引」

「ニュースレターのお届け」